

研究タイトル：

建築歴史・意匠とまちづくり

氏名：	森山学 / MORIYAMA Manabu	E-mail：	m-moriya@kumamoto-nct.ac.jp
職名：	教授	学位：	博士(工学)

所属学会・協会： 日本建築学会、九州工学教育協会、熊本県建築士会

キーワード： ル・コルビュジエ、近代建築、近世社寺、民家・町家、景観、民話、暮らし・生業、まちづくり

技術相談

提供可能技術：

- ・歴史的建造物の調査
- ・歴史・文化を生かしたまちづくり
- ・建築設計・デザイン一般
- ・これらに関する講演・原稿執筆・出版物の作成



研究内容：

・ル・コルビュジエの身体文化空間に関する研究

近代のスポーツ隆盛の時代に、衛生と健康を志向していた建築家・ル・コルビュジエが、身体文化を作品や理念にとりこんでいった過程を明らかにする。

・日本近代建築に関する研究

日本基督教団の教会建築、昭和 30 年代に建設された円形校舎、建築家・芦原義信など、近代建築の建設された背景や技術、建築家の思想・設計手法といった歴史的価値を明らかにし、それらに基づいた保存・改修・活用の提言を行う。

・近世社寺、町家・民家などの歴史的建造物に関する研究

地元である八代地域をはじめ、建造物の悉皆調査、個別の実測調査・復原と各建物の建築的特徴を明らかにし、それらに基づいた保存・改修・活用の提言を行う。

平成 28 年熊本地震においても、八代市内歴史的建造物の被災状況の悉皆調査と個別調査、復旧・復興のための提案を行っている。

・民話「彦一頓智話」の場所論的研究とその成果を活かしたまちづくり

熊本県八代地域に伝わる民話「彦一頓智話」の話の舞台を抽出し、話の文脈も含めて、八代地域におけるその場所性を論じる。

研究で得た知見をもとに、イベント型地域づくり、中心市街地活性化、保育施設・学校施設における伝承活動、出版活動、商品開発などを行う。

・地域の暮らしと暮らしの場に関する調査

地元である八代地域をはじめ、地域の暮らし、生業、伝統工芸とその現出としての町・集落、景観、建築物のヒアリング調査、フィールドワークを実施し、それを伝えるための出版物、講演活動、サイン計画、イベント、景観提言などを実施している。

・歴史・文化を生かしたまちづくり、建築やランドスケープの設計

地域の歴史や文化、暮らしの調査結果に基づき、活性化などを目的としたまちづくりを協働で実践する。建築や公園などの設計、セルフビルド(DIY)を行う。そのための参加型ワークショップのコーディネーター、ファシリテーターも務める。



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)
